



防災教育について ～子どもの命を守るために～

令和7年12月16日(火)
教育委員会 学校教育課

【目次】

- 1 子どもを守るために学校がすべきこと……………3頁
- 2 学校体制づくり……………4頁
- 3 防災教育のねらい……………5頁
- 4 令和7年度取り組み……………6頁
- 5 大津の防災教育のこれから……………11頁

1 子どもを守るために学校がすべきこと

【子どもの「命」、「安全」を守ること】
⇒すべての教育活動の土台・最優先事項

【第4期大津市教育振興基本計画】

＜基本理念＞

「一人ひとりが輝き、
ともに未来を創る大津の教育」

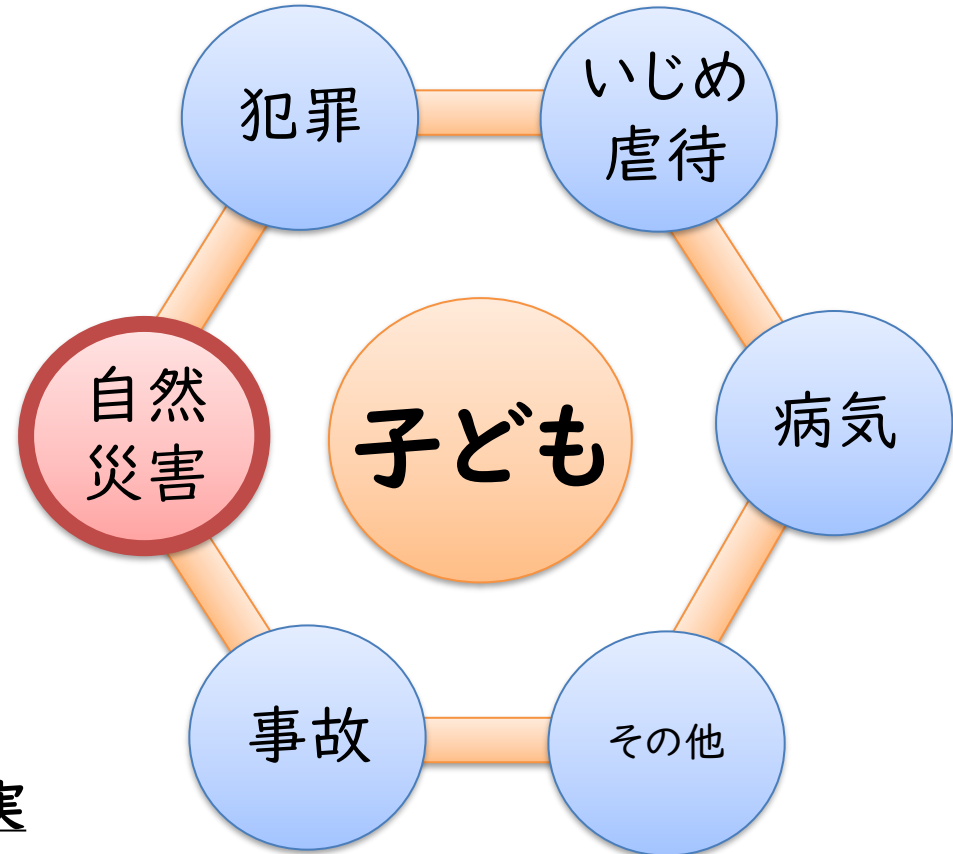
＜基本方針2＞

「すべての子どもが
安心して学べる教育を推進する」



①学校体制づくり ②防災教育の充実

子どもを取り巻く危険分類



2 学校体制づくり

【学校保健安全法第29条】

「学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領（危険等発生時対処要領）を作成するものとする。」

⇒大津市として、「危険等発生時対処要領」の防災に関する領域を「学校防災マニュアル」として位置づけ、市内小中学校で作成を義務化している。

〈学校防災マニュアル（具体的内容）〉

- ・目的（基本方針）
- ・防災組織体制（学校防災教育コーディネーターの配置）
- ・災害種別ごとの対応計画
- ・避難方法と避難場所
- ・児童生徒の引き渡し方法
- ・防災備品、設備の管理
- ・防災訓練 研修
- ・教育活動再開計画
- ・マニュアルの見直しと改善



3 防災教育のねらい

【防災教育のねらい】

1. 自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができるようにする。
2. 地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。
3. 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。

発達段階

防災教育の目標

幼児期
(未就学)

安全に生活し、緊急時に教職員や保護者の指示に従い、落ち着いて素早く行動できる幼児

小学校

日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全に気配りできる児童

中学校

日常の備えや的確な判断のもと主体的に行動するとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さ理解し、すすんで活動できる生徒

【大津市災害等対策基本条例 第28条】

「(前略)災害又は危機が発生した場合に当該学校、保育所又は、認定こども園の幼児、児童、生徒又は学生が、適切な自助及び共助の行動がとれるよう、応急手当及び、避難の方法その他の防災及び危機管理に関する教育を継続して実施するものとする。」

【大津市地域防災計画 第3節：市民の防災活動】

「防災知識の普及のためには、できるだけ早期からの防災教育が重要であり、学校等における防災教育は、幼児・児童・生徒が自らの生命を災害から守るための安全教育の一環として行う。各学年等においては、防災教育のねらいや重点を明確にし、教育課程に位置づけ、教育活動全体を通じて、体系的・計画的に指導していく。

参考資料：文部科学省【「生きる力」を育む防災教育の展開】



4 令和7年度の取り組み

【避難訓練：特別活動(学校行事・健康安全)】

災害発生時に児童生徒等が常に安全に避難できるよう、その実践的な態度や能力を養うとともに、災害時に地域や家庭において、自ら進んで他の人や集団、地域の安全に役立つことができるようになることを目指す。

- ・火災避難訓練
- ・地震避難訓練
- ・引き渡し訓練(小学校で実施)
- ・不審者対応訓練 等

⇒すべての小中学校で
学期に1回程度
計画的に実施

<関係機関との連携>

- ・消防局・・・30校
- ・警察署・・・20校
- ・学校防災教育アドバイザー・・・8校

消防局

救命講習 避難訓練

学校防災教育アドバイザー

防災教育について
企画運営の指導・支援

○学校防災教育アドバイザー招聘による取り組み (志賀小学校)

【避難訓練 講評】



【消火器訓練】



【一室に煙を充満させての火災体験 避難指示についての研修】



4 令和7年度の取り組み

【教科指導】

各教科の特性を活かしながら、防災に必要な知識・技能・態度を総合的に育てることを目指す。

教科	防災に関連する内容
社会	災害の歴史、地形と災害、自治体の防災体制など
理科	地震・火山・天気などの自然現象の仕組み
保健体育	けがの手当て、心肺蘇生法(AED)安全な避難方法
技術・家庭	備蓄・非常食の栄養、災害時の調理方法、身近なものの活用
国語	防災をテーマにした作文や討論

総合的な学習・特別活動においても、各校の実態に合わせて実施

⇒「教科横断的・実践的・協働的」

【日吉台小 消防署見学】



【晴嵐小 起震車体験】



【唐崎中 ランプシェード制作】



【真野小 安全マップ】



【比叡平小 防災教室】



【北大路中 土嚢積み体験】



4 令和7年度の取り組み

【和邇小学校】※学校夢づくりプロジェクト 連携型 地域と協働した防災学習 ～宿泊を伴うリアル避難所体験～

- ・和邇学区自主防犯防災会と連携
- ・防災講演会の実施
- ・防災クイズ
- ・防災グッズ作り（ダンボールパーテーション、ダンボールベッド）
- ・かまどベンチ作り（憩いの場であるベンチ機能を活かしつつ、かまど機能を持たせる）
- ・リアル避難所体験（ロープワーク、ブルーシートテント、簡易トイレ体験）

【かまどベンチ作り】



【避難所設営】



【防災クイズ】



4 令和7年度の取り組み

【堅田中学校】※学校運営協議会と連携 テーマ「将来の街づくりの担い手」

- ・水害によるマイタイムライン（災害時自分用避難計画）の作成
- ・学校・地域・保護者と連携した3年生による防災訓練（避難所体験学習）
- ・段ボールベッド、簡易トイレ設営
- ・起震車体験
- ・非常用食器づくり
- ・炊き出し体験（カレーうどんを非常用の容器に入れた避難時食事体験）

【起震車体験】



【段ボールベッド体験】



【炊き出し(カレーうどん)】



4 令和7年度の取り組み

【長等小学校】

- ・修学旅行において、北淡震災記念公園で語り部さんによる講話、見学（野島断層等）
- ・地域と連携して、防災についての学習会（避難所体験）を開催

修学旅行北淡震災記念館

【語り部さんの講話】



【段ボールベッド体験】



【野島断層 見学】



【避難テント体験】



【南郷小学校】

- ・全校で啓発ビデオ視聴
- ・ミニ洗堰づくり体験
（ミニ洗堰を作成し、ウォーターステーション琵琶に展示）
- ・防災かまどづくり
※学校夢づくりプロジェクト 連携型
連携：ウォーターステーション琵琶、国土交通省
琵琶湖河川事務所、琵琶湖河川レンジャー

【ミニ洗堰づくり】



【防災かまどづくり】



5 大津の防災教育のこれから

【第4期大津市教育振興基本計画】

＜基本理念＞ 「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」

学校体制づくりを土台に

- ・学校防災マニュアル
- ・教職員の共通理解
- ・計画的な取り組み

特色あるカリキュラム

- 【横断的・実践的・協働的】
- ・教科指導
 - ・総合的な学習
 - ・特別活動

地域とのつながり

- ・関係機関との連携
- ・学校→家庭→地域へ広がる防災意識
- ・地域→家庭→子どもへの知恵の循環



学校・家庭・地域が連携して、学校の特色を生かした
防災教育の充実をはかる